

令和6年度神奈川県中小企業生産性向上促進事業費補助金

<採択事例>

CASE 3

生産性向上補助金でフォークリフト導入し、機器受入・搬出業務の効率が向上！

株式会社 KRS

事業概要：(業種：建設(設備工事)業)

神奈川県小田原市寿町 4-19-2

代表取締役：谷口 賢次さん

【社長より一言】

1970年代から小田原市内にて生鮮食品店及び飲食店の業務用冷凍庫、冷蔵庫、空調設備の販売・設置・メンテナンス業を営んでおります。

近年では大型物流倉庫の冷凍・冷蔵倉庫や、自動車メーカーの車両用環境試験設備のメンテナンス、また原子力関連試験設備の設置・メンテナンス及び試験助勢を行っております。



◆導入した設備

◇フォークリフト（1台）



◇作業風景



◆生産性向上のねらい

弊社は主に冷凍・冷蔵設備を扱っており現場業務がメインです。そのため、大型設備の受入れには荷物の積み下ろしのため、社員2～4名で対応する必要があり、人手が足りず請け負えない受注が発生していました。

そこで、フォークリフトを導入することで社員の人員配置の効率化につながり、これまで請け負えなかった業務を受注することが可能となることで、売上の向上を見込めると考えています。

～✍️神奈川県取材ノート～

今回初めての補助金申請をされた事業者であるとともに、補助金申請者の発注先という立場にもなられたそうです。

発注先として提出する見積書や設置工事の写真など、県が求める資料の意図を理解するのに苦労した場面もあったそうです。私たちも提出資料の意図を公募要領などを通じてもっと分かり易く記載するよう努力したいと思います。

●設備導入前の状況

重量物（冷凍庫や空調機）の受入時、トラックから2～4人の人員（男性）にて手降ろしで対応していました。



○設備導入後の状況

フォークリフト導入により、例えば女性1人でも重量物の受入が可能になりました。



◆補助金を申請する前に悩んだ事、大変だったこと

補助金申請は初めてでしたが、フォークリフトを導入したいと信用金庫に話していたところ、この補助制度を知りました。私はもともと中小企業診断士の勉強をしていたので申請に対し抵抗はなく、現状の弱点と設備導入によりどのように強みとなるかストーリー性をもたせて説明していけるように、自分で申請書を作成することができました。強いて言えば、交付決定までの期間が長くて少し心配したことはありました。

◆補助金を申請してよかった事

設備の導入は、費用の面で躊躇していたのですが、補助金を利用し導入できたことで、重量物の受注が可能になり、業務に幅ができて本当に良かったと感じております。

今後も機会があればこうした補助制度を利用し、会社発展に役立てたいと思います。



◆最後にひとこと！

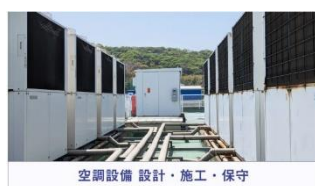
弊社は小型～大型の幅広い冷蔵・冷凍設備のノウハウがあります。

また、産業用試験設備（自動車用環境試験設備、原子力関連試験設備等）にも知見を有しております。

何かお困りの際は是非お声がけください！



冷凍冷蔵設備 設計・施工・保守



空調設備 設計・施工・保守



業務用冷凍冷蔵庫 厨房設備 修理・施工・保守



産業用試験設備 設計・施工